

議事日程

- 第 1 議案第 19 号 上田地域広域連合個人情報保護条例及び上田地域広域連合情報公開条例中一部改正について
- 第 2 議案第 20 号 平成 29 年度上田地域広域連合一般会計決算認定について
- 第 3 議案第 21 号 平成 29 年度上田地域広域連合ふるさと基金特別会計決算認定について
- 第 4 議案第 22 号 平成 29 年度上田地域広域連合介護保険特別会計決算認定について
- 第 5 議案第 23 号 平成 29 年度上田地域広域連合消防特別会計決算認定について
- 第 6 議案第 24 号 平成 30 年度上田地域広域連合一般会計補正予算（第 1 号）
- 第 7 議案第 25 号 清浄園爆発事故に係る損害賠償額の決定及び和解について

本日の会議に付議した事件

日程第1から第7まで

出席議員（21名）

第1番	林	和明	君
第2番	佐藤	論征	君
第3番	金子	和夫	君
第4番	宮下	省二	君
第5番	佐藤	千枝	君
第6番	阿部	貴代枝	君
第7番	杳掛	計三	君
第8番	宮下	壽章	君
第9番	飯島	伴典	君
第10番	土屋	勝浩	君
第11番	松山	賢太郎	君
第12番	佐藤	清正	君
第13番	横山	好範	君
第14番	依田	俊良	君
第16番	羽田	公夫	君
第17番	小林	隆利	君
第18番	南波	清吾	君
第19番	半田	大介	君
第20番	久保田	由夫	君
第21番	渡辺	正博	君
第22番	西沢	悦子	君

欠席議員（2名）

第15番	田村	孝浩	君
第23番	入日	時子	君

説明のために出席した者

広域連合長 土屋陽一君

副広域連合長 ○東御市長 花岡利夫君
○青木村長 北村政夫君
○長和町長 羽田健一郎君
○坂城町長 山村弘君

広域連合監査委員 後藤菊夫君

事務局 ○事務局長 両角功君
○消防長 松井正史君
○会計管理者 山崎完爾君
○事務局
総務課長 林克臣君
○事務局
企画課長 坂井美嗣君
○事務局
介護障がい
審査課長 中村尚文君
○事務局
ごみ処理
広域化
推進室長 橋詰邦昭君
○消防次長
(兼)
消防本部
総務課長 久保田荘司君
○消防次長
(兼)
上田中央
消防署長 越浩司君
○清浄園所長 山越晃君
○上田
クリーン
センター
所長 土屋隆君
○丸子
クリーン
センター
所長 清住拓生君

○東 クリーン部
セ ン ター 長
所 高 藤 博 幸 君

○消 防 本 部
予 防 課 長 堀 池 正 博 君

○消 防 本 部
警 防 課 長 宮 原 正 晴 君

事 務 局 齋 藤 賢 彦 君

本会議

午後 3時00分 開 議

- * 議長（小林隆利君） これより本日の会議を開きます。

日程第1 議案第19号

- * 議長（小林隆利君） 日程第1、議案第19号を議題とし、総務委員長の報告を求めます。
松山総務委員長。

[総務委員長 松山賢太郎君登壇]

- * 総務委員長（松山賢太郎君） 総務委員会は、去る10月23日に開催し、付託案件の審査を終了いたしましたので、その概要について順次御報告申し上げます。

まず、議案第19号 上田地域広域連合個人情報保護条例及び上田地域広域連合情報公開条例中一部改正については、質疑、討論もなく、本案は可決すべきものと決定いたしました。

- * 議長（小林隆利君） これより質疑に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

- * 議長（小林隆利君） これより討論に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

- * 議長（小林隆利君） これより採決いたします。

本案は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

- * 議長（小林隆利君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第2 議案第20号

- * 議長（小林隆利君） 次に、日程第2、議案第20号を議題とし、まず総務委員長の報告を求めます。

松山総務委員長。

[総務委員長 松山賢太郎君登壇]

- * 総務委員長（松山賢太郎君） 議案第20号 平成29年度上田地域広域連合一般会計決算認定中担当分については、はじめに、審査意見書にある広域連合事務局組織体制について、円滑かつ効果的な組織運営に対して、どのようなことを検討していくのか。

これに対し、地域医療対策については、現在、基金の管理及びふるさと基金特別会計で実施して

いる地域医療支援に関する事業は企画課、従来から実施している病院群輪番制に係る事業は介護障がい審査課と、2つの部署に分かれている。予算と組織のあり方について、一本化も含めて効率的な組織運営の観点から検討してまいりたい。

また、資源循環型施設建設が将来的に進む中で、既存のクリーンセンターや清浄園の廃止、兼任している斎場の所管、最終処分場の設置等、今後の施設のあり方を具体的に組織体制を編成する時期を見据えながら検討を進めていきたい。

次に、広域観光振興についての取り組みはどうか。

これに対し、上田地域観光協議会において、従来どおり観光キャンペーン、観光パンフレットの改訂を行ったほか、新たに観光動態調査・意向調査を実施した。

この結果を関係市町村とともに分析・協議し、観光協議会会員に提供したほか、ホームページへの公開、発地型・着地型2種類の観光パンフレットの作成等、さらなる広域観光の推進に取り組んでいる。

次に、広域広報紙について住民の意見を聞くといった取り組みはあるのか。

これに対し、従来から広域行政モニターを設置し、意見をいただき紙面に反映させている等々の質疑応答があり、本年中担当分については認定すべきものと決定いたしました。

* 議長（小林隆利君） 次に、保健福祉委員長の報告を求めます。

佐藤保健福祉委員長。

[保健福祉委員長 佐藤清正君登壇]

* 保健福祉委員長（佐藤清正君） 保健福祉委員会は、去る10月23日に開催し、付託案件の審査を終了いたしましたので、その概要について順次御報告を申し上げます。

まず、議案第20号 平成29年度上田地域広域連合一般会計決算認定中担当分については、はじめに、クリーンセンター費について、維持管理費が増大傾向にあるが、修繕料の経費節減をどのように図っているのか。

これに対し、随意契約となる修繕業務について、専門機関に見積もり設計審査業務を委託し、上田クリーンセンターにおいては2,720万円余、丸子クリーンセンターにおいては490万円余、東部クリーンセンターにおいては1,100万円余の経費節減を図ることができた。

次に、平成29年度の市町村別ごみの排出量と平成32年度ごみ減量化目標値達成の見通しはどうか。

これに対し、平成29年度の市町村別のごみの排出量は、上田市3万3,658トン、前年度比552トンの減、東御市4,368トン、360トンの減、長和町973トン、5トンの増、青木村654トン、11トンの減である。

平成32年度目標値達成の見通しについては、1人1日当たりのごみの排出量で見ると、平成28年度554グラムに対し、平成29年度544グラムと10グラム減量が図られており、平成32年度530グラムの達成見込みであるが、総量については、人口動態、景気動向等社会的要因に左右される。

次に、清浄園について昨年発生した爆発事故の対応として、管理業務改善計画に基づくマニュアルの見直しを行っているがどのような見直しをしたのか。

これに対し、まず運転方法の見直しとして、使用する貯留槽を容量の小さいものに変更し、し尿の滞留時間を短縮することにより、メタンガス発生を抑制した。また、職員のスキルアップのための専門研修の実施、修繕業務における複数担当制の採用及び業者との事前協議を必ず実施しているとの質疑応答があり、本案中担当分については認定すべきものと決定いたしました。

* 議長（小林隆利君） 以上で委員長報告が終わりました。

これより委員長報告に対する質疑に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（小林隆利君） これより討論に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（小林隆利君） これより採決いたします。

本案は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（小林隆利君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は認定されました。

日程第3 議案第21号

* 議長（小林隆利君） 次に、日程第3、議案第21号を議題とし、総務委員長の報告を求めます。
松山総務委員長。

[総務委員長 松山賢太郎君登壇]

* 総務委員長（松山賢太郎君） 議案第21号 平成29年度上田地域広域連合ふるさと基金特別会計決算認定については、はじめに、地域医療の支援についての検討状況はどうか。

これに対し、病院群輪番制度の維持や信州上田医療センターにおける医師確保支援の継続等は必要と考えており、継続の方向で関係市町村と検討を進めている。

次に、スポーツレクリエーション祭の参加者は増加しているが、予算は減少している。事業の継続についてはどうか。

これに対し、参加者数は天気にも左右されるが、多くの方に参加していただけるよう各市町村のスポーツ推進員に魅力的な内容を考えていただいている。事業費は基金運用益で賄っており、運用益減少により事業の実施が難しくなっているが、継続に努めてまいりたいとの質疑応答があり、本案は認定すべきものと決定いたしました。

* 議長（小林隆利君） これより質疑に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（小林隆利君） これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（小林隆利君） これより採決いたします。

本案は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（小林隆利君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は認定されました。

日程第4 議案第22号

* 議長（小林隆利君） 次に、日程第4、議案第22号を議題とし、保健福祉委員長の報告を求めます。

佐藤保健福祉委員長。

〔保健福祉委員長 佐藤清正君登壇〕

* 保健福祉委員長（佐藤清正君） 議案第22号 平成29年度上田地域広域連合介護保険特別会計決算認定については、介護相談員派遣事業について、訪問施設数が増加する中で、現在の状況はどうか。

これに対し、平成29年度は7施設が増え58施設を延べ386回訪問した。人員体制については、介護相談員定例会で関係市町村と協議し、現行の2人1組、10人体制で実施していくこととしているとの質疑応答があり、本案は認定すべきものと決定いたしました。

* 議長（小林隆利君） これより委員長報告に対する質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（小林隆利君） これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（小林隆利君） これより採決いたします。

本案は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（小林隆利君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は認定されました。

日程第5 議案第23号

* 議長（小林隆利君） 次に、日程第5、議案第23号を議題とし、総務委員長の報告を求めます。

松山総務委員長。

〔総務委員長 松山賢太郎君登壇〕

* 総務委員長（松山賢太郎君） 議案第23号 平成29年度上田地域広域連合消防特別会計決算認定については、はじめに、火災における出火原因のトップが5年連続たき火だが、どのような対策をとっているのか。

これに対し、消防車両の巡回における予防広報、直接指導を実施するとともに、气象台から火災気象通報が発表された場合は、あわせてケーブルテレビの文字放送による注意喚起を実施している。さらに、各種イベント、講演会や市町村等の広報紙による注意喚起を実施している。

また、ことし5日間連続して土手焼き等のたき火により発生した火災対策では、管轄自治体の農政課、総務課、管轄消防署、消防本部予防課により緊急対策会議を開催し、農業従事者に対し農政課からも広報した結果、たき火による火災も鎮静化した実績がある。

次に、常備消防費について、以前消防広域化研究協議会において、住民1人当たりの常備消防費の額について調査がされていたが、今もこのような調査は行っているのか。

これに対し、消防広域化研究協議会は休止しているため、新たな調査は行っていない。

次に、高齢化で国が在宅介護を推進している中、救急件数も増加傾向にあり、救急隊を専従化して体制を強化すべきではないか。

これに対し、今後も消防責任を果たしていくため、今年度から作業部会を設け、時代に即した消防力のあり方として、消防本部の将来構想について研究・検討している。

次に、高機能消防指令装置保守業務委託料が前年度より増額となった理由は何か。

これに対し、消防本部通信室指令室に設置している指令台や8消防署に設置している指令端末装置及び車両運用端末などの保守に係る委託料であり、前年度は最低限度の機器の保守内容としていたところだが、平成29年度は、迅速な災害対応に影響がある機器の保守内容を見直したことによる増額である等々の質疑応答があり、本案は認定すべきものと決定いたしました。

* 議長（小林隆利君） これより委員長報告に対する質疑に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（小林隆利君） これより討論に入ります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（小林隆利君） これより採決いたします。

本案は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

* 議長（小林隆利君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は認定されました。

日程第6 議案第24号

* 議長（小林隆利君） 次に、日程第6、議案第24号を議題とし、保健福祉委員長の報告を求め

ます。

佐藤保健福祉委員長。

[保健福祉委員長 佐藤清正君登壇]

* 保健福祉委員長（佐藤清正君） 議案第24号 平成30年度上田地域広域連合一般会計補正予算（第1号）については、はじめに、資源循環型施設検討委員会の設置目的、協議事項、委員構成、委員会と対策連絡会との関係、協議期間についてはどうか。

これに対し、委員会の設置目的は、資源循環型施設に関する事業の構想の段階から地域住民が参加し、専門家及び行政との協議を行い、周辺地域での公害の防止など、地域住民の安全安心を保証する計画策定に資することを目的としている。あわせて地域発展に向けたまちづくりを協議する。

協議事項については、「将来にわたり、安全・安心な資源循環型施設のあり方」、「環境に配慮した資源循環型施設のあり方」、「地域の発展に貢献する資源循環型施設のあり方」を予定している。

委員は、対策連絡会から選出された地元委員10人以内、学識経験者4人、行政側委員3人のおおむね17人で構成する。

委員会と対策連絡会の関係は、委員会で協議した結果については、広域連合から対策連絡会に協議を依頼し、対策連絡会からいただいた御意見を次の委員会で報告する。協議期間は、1か月半から2か月に1度の頻度で委員会を開催し、おおむね6回程度で施設建設の構想段階の協議を進めていきたい。

次に、環境影響評価については、検討委員会の結果を待ってから行うのか。

これに対し、環境影響評価手続の開始に係る協議は、検討委員会での協議を踏まえながら対策連絡会と行っていく。

次に、広域連合長挨拶にあった「上田地域モデル」とはどのようなものか。

これに対し、検討委員会は、対策連絡会と行政との共同運営とし、住民参加型の検討組織、協議体制で進めていく。

次に、検討委員会では、反対している諏訪部自治会等に配慮して協議を進めてほしいとの要望がありました。これらの質疑応答があり、本案は原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

* 議長（小林隆利君） これより委員長報告に対する質疑に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（小林隆利君） これより討論に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（小林隆利君） これより採決いたします。

本案は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（小林隆利君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第7 議案第25号

* 議長（小林隆利君） 次に、日程第7、議案第25号を議題とし、保健福祉委員長の報告を求めます。

佐藤保健福祉委員長。

[保健福祉委員長 佐藤清正君登壇]

* 保健福祉委員長（佐藤清正君） 議案第25号 清浄園爆発事故に係る損害賠償額の決定及び和解については、このような爆発事故はあってはならないことであり、この件に関する見解はいかがか。

これに対し、公の施設としてあってはならないことであり、関係各位に御迷惑をおかけし、おわびを申し上げます。事故の再発防止にしっかり取り組み、住民の皆様の信頼回復を図ってまいりたいとの質疑応答があり、本案は可決すべきものと決定いたしました。

* 議長（小林隆利君） これより委員長報告に対する質疑に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（小林隆利君） これより討論に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（小林隆利君） これより採決いたします。

本案は委員長報告のとおり決するに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

* 議長（小林隆利君） 御異議なしと認めます。

よって、本案は可決されました。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもって、平成30年10月上田地域広域連合議会定例会を閉会といたします。

午後 3時22分 閉 会